

鎌ヶ谷で続ける異文化交流と支援活動

理事 太田尻はる子 (ICECK 代表)

この度、団体会員の ICECK 代表として、当会の理事に選任されました太田尻です。事務局から新理事として何か書いてほしいと依頼がありましたので、ICECK のことを紹介させていただきます。

ICECK (鎌ヶ谷国際文化交流会) の活動には「支援活動」と「文化交流」の二つがあります。昨年「支援活動」の一つとしてアジアの子どもの教育支援をすることができ、過去にミンダナオの水道建設事業で協力させていただいたご縁もあり、HANDS を通じてハイスクール 2 年のアリエル君と小学校 3 年のピラリンさんの奨学金を支援することになりました。



マレーシアの日本語教室の生徒さん

ICECK の支援活動にはその他、マレーシア日本語教師派遣もしていきまして、私も年 2 回、夏と冬各 2 カ月ほどマレーシアに出かけて、日本語と日本の文化を教えています。

また ICECK には、琴、書道、着物着付け他さまざまな日本の伝統文化を継承しておられる会員も多く、異なる文化を持つ皆さんとの交流、相互理解をはかっています。今年も 6 月に鎌ヶ谷市内で異文化交流の祭典を開催し、9 月には上海師範大学の日本語科学生との文化交流を企画しています。私自身も山田流箏曲師範として生徒さんにお稽古をしながら、イベントでの文化交流を楽しんでいます。

これらの活動の資金は、おもに 12 月のクリスマスチャリティコンサートや会員持ち寄りバザーによる収益を当てていて、過去に HANDS 事業地域で協力させていただいたミンダナオのトゥランボンやラムトゥボ村の簡易水道事業はこのようなイベント収益などを当てさせていただきました。

鎌ヶ谷市と姉妹都市となっているニュージーランドの町からジャズ演奏家及びビックバンド、スイングピアノの演奏家を招いてのクリスマスチャリティコンサートはいつもたくさんの方の市民に楽しんでいただいています。

ICECK 会員は皆さんイベントが大好きです。機会がありましたら HANDS の催しにもみんなで参加したり、理事として企画のアドバイスをさせていただけたらと思っています。

第 10 回社員総会

5 月 29 日 (土)、社員会員 35 名出席 (うち委任状 29 名) オブザーバー 5 名ご参加のもと、NPO 法人化して 10 回目の総会が開催され、下記のように新役員 6 名が選任されました。(開催地：駅前事務所)

<理事>山崎登美子 (理事長)、安達美菜 (副理事長)、古川順一 (副理事長)、前田恵 (会計担当)、太田尻はる子 (新任) <監事>山口慎輔

森とひとを育て、いのちを守る環境保全、教育、保健医療などの 5 分野の海外事業と、右欄でご報告のような現地のハンドイクラフト販路拡大、広報啓発の国内事業計画も満場一致で承認されました。

これら支援事業遂行の大前提である HANDS 事務局の健全運営の経費捻出のため、海外事業費を 10%削減する方針も承認されました。今後ともよりよい活動のためのご助言をよろしくお願い致します。

なお、総会の詳細をご希望の方は、議事録を閲覧いただけます。事務局までお申し出ください。(事務局・山崎)

ちえのわハウス出展

6 月 21~26 日の 6 日間、自然食品とフェアトレードのお店、ちえのわハウス (JR 国府津駅徒歩 5 分) にて、ティナラク織とナバルタビ織の展示即売会を行いました。

県西地区への初出展となり、力が入りまします。また店内の白壁にティナラク織は映える！と確信し、約 300 点の製品と現地の写真を展示させていただきました。

結果は 90,250 円の売り上げでした。それ以上に嬉しかったのは、織物に関心のある方、環境保護に関心のある方など多くの来店者がお手に取って下さり、どんな人たちがどのように織っているのか、質問して下さったことです。期間中には山崎による現地報告も行われました。今後は現地へこの経験をフィードバックし、年 1 回、同所にて展示会を行っていきたく考えています。製品への値札付けを担当して下さったボランティアの皆さまもありがとうございました！ (九島)